

「が」と“但是”“可是”の接続機能の比較 (连词“が”和“但是”“可是”)

玄, 宜青 / Gen, Gisei

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

異文化. 論文編 / 異文化. 論文編

(巻 / Volume)

14

(開始ページ / Start Page)

91

(終了ページ / End Page)

102

(発行年 / Year)

2013-04

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00008695>

「が」と“但是”“可是”の接続機能の比較 (连词“が”和“但是”“可是”)

玄 宜青

GEN Gisei

0.

中国語の接続を表す表現には“但是”“可是”“不过”などがある。これは概ね日本語の「しかし～」「～だが～」「～だけれど(も)」などに対応している。ここでは、「～(だ)が～」「～だけれど(も)」のように、一つの文(複文)のなかで、前件と後件をつなぐ接続の機能をもつ“但是”“可是”“不过”について考えていく。

1.1

中国語においては、“但是”“可是”“不过”などを使用した文は、複文のなかの「偏正複文」に分類され、そして「偏正複文」のなかでは、「転折複文」と「讓歩複文」に所属しているとされる。

転折複文について『現代中国語文法総覧』(注1)では、次のように記述されている。

☆偏句がある事実を叙述し、正句にはこの事実在即して得られる誰もが納得するような結論は述べられず、むしろそれとは反対の事実または部分的に反対の事実を述べる。転折複文はさらに次の2種類に分けられる。

☆重い転折。二つの分句の意味がまったく反対のもので、常用の関連語句は“虽然……,但是(可是)”“否则”“不然”などがある。

……

偏句には“虽然”などを用いず、正句だけに“但是”“但”“可是”“然而”などを用いるものもあるが、このような転折複文は口調が和らげられる。

☆軽い転折。常用の関連語句には“不过”“却”“只是”“就是”などがある。……

また「讓歩複文」について、『現代中国語文法総覧』では、次のように記述されている。

☆偏句では、ある事実を認めて讓歩し、正句が反対の角度から逆の意味を述べるような文を讓歩複文という。常用の関連語句としては、偏句では“尽管”“纵然”“固然”“即使”“哪怕”“就是”など、正句では“也”“都”などである。讓歩複文には2種類がある。

☆事実に対する讓歩。偏句が述べている事実はすでに実現を見たことである。偏句には関連語句を用いなくてもよい。

☆仮定に対する讓歩。偏句の提示する事柄は一つの仮定である。“但是”“可是”“不过”などが用いられるのは「讓歩複文」のうちの「事実に対する讓歩」の讓歩複文である。

1.2

辞書などの“但是”“可是”“不过”についての記述は以下のようにになっている。

『現代汉语八百词』では

但是：表示转折，引出同上文相对立的意思，或限制、补充上文的意思。连接小句也连接词、短语、段落。要表达的重点在‘但是’之后。

可是：表示转折；但是。

不过：表示转折，比‘但是’轻。

- a) 补充、修正上文的意思；只是。 b) 补充同上文相对立的意思

また『应用汉语辞典』では

但是：用在后半句话里表示转折

可是：表示转折或限制；但是

不过：用在后半句的开头，表示一种委婉的转折，对上半句话加以修正或补充

『講談社中日辞典（第二版）』では“但是”“可是”“不过”を比較し、その異同については以下のように記述している。

ともに接続詞で、前文と相反する事柄を述べたり、あるいは前文に制限や補足を加える。意味の重点は一般に後文にある。“但是”：書き言葉にも話し言葉にも用いる。直後に読点を置き、ポーズをとることができるが、……“可是”：話し言葉によく用いる。語気は“但是”よりやや軽い。“不过”：話し言葉によく用いる。語気は“但是”よりやや軽く、伸ばし気味に発音すると婉曲なニュアンスが出る。

1.3

一方の日本語の「が」について辞書（『明鏡国語辞典』）は以下のように記述している。

[接助] ①前置きを示す。…けれども。ア補足的説明を表す。イ自分の立場や心情、また、自分が推測した相手の立場や心情を表す。ウ話題の前提となる事物を示す。②対比的な関係にある二つの事柄を結びつける…けれども。③関連しそう

な二つの事柄を結びつけ、後件がより核心的であることを表す。④先に述べた事柄に対して、その唐突さを何らかの説明で軽減する気持ちで、新しい話題を提示する。⑤《「…(よ)うー」の形で》(以下略す。)

以下で日本語の「が」と中国語の“但是”“可是”“不过”の意味用法について考えていく。

2.1

上の記述にある「が」の①～④の意味用法の内、“但是”“可是”“不过”と関わるのは主に②③である。①④については、中国語では“但是”“可是”“不过”を使用した形にはなり難い。

(1一日) 六月二日は日曜日、翌三日は月曜日であるが、週明けにいきなり苦手な数学のテストがあり、こんな時刻まで勉強していたのも、その準備のためだったのだ。(理)(注2)

(1一中) 6月2日是星期天,3日就是星期一了,下周一开始就要令她头疼的数学,今晚一直学到现在也是在准备这次考试。

(2一日) 当時、小糸孝弘の成績や学習態度には何の問題もなかった。倉橋は電話をかけてきた小糸孝弘の母親に、もちろん面談はするが、さしつかえがなければどうということについて話をしたいのか、教えてもらえないかと訊いてみた。(理)

(2一中) 当时小丝孝弘的成绩和学习态度没有任何问题。因此,仓桥对给他打电话的小丝孝弘的母亲说,当然可以见面谈,如果没有什么不方便的话,可不可以先告诉他她想谈些什么。

(3一日) 一般的に高層マンションはすべてそうだが、ヴァンダー

ル千住北ニューシティにも開放型の廊下はない。(理)

(3-中) 普通的高層建築都是这样的,千住北新城也没有开放式的走廊。

(4-日) この前久しぶりに丸の内に行ったが、新しいビルが建っていた。

(4-中) 好久没去丸之内了,前些天去了一趟,那儿盖起了新的大楼。

(5-日) 貴子は知らなかったが、小糸静子はこのころ新宿のデパート内にあるブティックで働いていたのである。勤務は平日のみだが、時間は午前十時から午後六時まで。当然孝弘が帰宅する時には不在である。(理)

(5-中) 貴子不知道,这段时间,静子一直在新宿一家商场的时装店里上班。一周工作五天,从早上十点到下午六点,所以孝弘放学回家时,她当然不会在家。

(1) ~ (5) でみるように、日本語の「が」に対し、中国語では“但是”“可是”“不过”などは使用されていない。「が」のように「前置き」や「唐突さを軽減し新しい話題を提示する」のような用法はみられない。

2.2

一方の上掲②の「が」の用法には次のようなものがある。

(6-日) 事件の後二〇二五室は一旦石田の所有になったが、すぐに売りに出した。(理)

所有→売る

(6-中) 案发之后,二〇二五室曾暂时属于石田所有,但很快他就把房子卖了。

? 案发之后,二〇二五室曾暂时属于石田所有,很快他就把房子卖了。(作者中訳)

(7-日) インタビューに応じてくれた関係者のうち、実際に

見たことがあると言う人はいなかったが、話は有名であるらしい。(理)

見たことがない→知っている (話は有名である)

(7-中) 在接受采访的人当中,没有人真正见过幽灵,不过他们说的话却非常出名。

? 在接受采访的人当中,没有谁真的见过幽灵,据说传说是很有名的。(作者中訳)

(8-日) 信子のいるところからは、彼らの背中しか見えなかったが、父が信子に気付いて「お帰り」と声をかけると、彼らがそろって振り向いた。(理)

信子は見えない→父は見えた

(8-中) 从信子站的这个地方,只能看到他们的后背。父亲看到信子了,对她说了句你回来了,于是,他们一起都回过头来。

从信子这里只能看到他们的后背。但是父亲看到信子了,对她说了句你回来了,(作者中訳)

(9-日) 石田は受話器を耳にあてた。縮こまったような姿勢はそのまま、先方はしきりにしゃべっているようだが、彼は半分目を閉じて、じっとそれに聞き入っているだけだ。(理)

先方はしゃべっている→聞き入っている

(9-中) 石田把电话放到了耳边。蜷缩着身体,对方好像在不停地说,他只是半睁着眼睛一动不动地在听对方说。

石田把电话放到了耳边。身体仍然蜷缩着,对方好像在不停地说,但是他只是半睁着眼睛一动不动地在听对方说。(作者中訳)

(10-日) 意外なことに、おっさんが苦勞してせんべい布団から身を起こすのを、義文は手をのばして手伝ってやった。

腰はひけていたが、腕はしっかりおっさんを支えていた。(理)

腰→腕

(10—中) 出人意料的是义文伸出手帮助大叔从又薄又硬的被子里坐起来。他的腰使不上劲,可他胳膊使劲地撑着大叔。父亲弓着腰,伸出胳膊使劲地撑着大叔。(作者中訳)

これらの「が」で結びつけられている対比的な関係にあるものは、(6)～(10)の用例から見ると、中国語で表す場合、接続を表す“但是”“可是”“不过”は必ずしも使用されるとは限らない。(6)は「石田は大変苦勞してやっとの思いでそのマンションを手に入れたのに、すぐにまた手放す」、(7)は「誰も見ていないのにその幽霊の話は知っている」。これは前件と後件の関係は大方の予想する方向とは異なる方向へ移行したと考えることができる。(8)は「信子の位置からは見えない」と「父の位置からは見える」という前件と後件は並行していてその間の移行は予想するようなものではない。(9)の「先方はしゃべっている」と「石田さんは聞いているだけ」も前件と後件は並列しているだけだと考えられる。(10)は『理由』のなかでは次の場面で使用されている文である。殺人容疑で指名手配されている石田を信子が自分の家が経営している簡易宿で発見した。信子は父に知らせ、親子が恐々としながら様子を見に行く。信子はいざという時のために傘をとって後から行ってみると、「(父の)義文はへっぴり腰で2階のとっつきに立っていた。」信子がそっと近づくと「父はぎょっとして半歩前に飛び出した。」このように父も怖がっていたという場面だった。そこから(10)の父は石田に手を貸す場面になる。従って(10)は「腰は」と「腕は」で対比しているとも考えられるし、怖がっているのに、近づいて行ったという二つの異なる方向の行動を表現しているとも考えられる。また、(6)(7)(10)から“但是”などを取り、(8)(9)に“但是”などを付け加えてみると、(6)(7)は不適切な感じを受けるが、その他

は許容される文である。中国語では対比的な前件と後件を接続する場合、より大方の予想に反する後件への移行を示す場合の方が“但是”などの接続詞が表れやすいと考えられる。

2.3

上掲③の「が」の用法には次のものがある。

(11 - 日) 智恵子の観察の細かいことに、警察官たちも驚いたが、北島敦子も驚かされた。(理)

警察官も驚く→北島敦子も驚く

(11 - 中) 智恵子观察的细致，让警察非常吃惊，北岛敦子也觉得惊奇。

让警察非常吃惊，可北岛敦子也觉得惊奇（作者中訳）

(12 - 日) この家は駅からは少し遠いがその分家賃も安い。

駅から遠い→（その分）家賃が安い

这套房子离车站稍微远一点儿，但是房租便宜。

? 这套房子离车站稍微远一点儿，房租便宜。

(13 - 日) 彼は幼い時はやんちゃだったがとても賢かった

やんちゃ→賢い

(13 - 中) 他小时候很淘气，但是特别聪明。

? 他小时候很淘气，特别聪明。

(11) は『理由』のなかでは次の場面で使用されている文である。殺人事件が発生し、警察が聞き込みにきた。智恵子と北島敦子は親子であり、北島敦子は家のことを智恵子にまかせて自分は外で働いていた。自分の母親がご近所さんのことをこれほど細かく正確に観察しているとは思わなかったし、そのことから母はとても狭い社会での生活を強いられ、そのおかげで、自分が安心して外で働けることを改めて認識させられたという文脈になっており、身内のことなのに、他人の警察以上に「驚く」ことになる。(12) (13) では、それぞれ前件の「好ま

しくない」ことより、後件の「好ましくて主張したい」ことを発話の重点とし、また前件と後件が同じ対象について述べている時、意味が「反対」の場合は“但是”などの接続詞が必要であると考えられる。

3.1

主に話し言葉に使用するのか、それとも書き言葉に使用するかは“但是”“可是”“不过”などの違いの一つであるとされる。例えば上掲の『講談社中日辞典（第二版）』では、

“但是” → 書き言葉にも話し言葉にも用いる

“可是” → 話し言葉によく用いる

“不过” → 話し言葉によく用いる

のように記述している。

『理由』の一部を抜き、そのなかの会話や地の文における「が」などの使い方をみたが、地の文には「けれども」は使用されることはなく、会話文においても発話者が女性の場合「が」ではなく「けれども」を使用している傾向があることがわかる。しかし中国語訳で同じ個所を見ると、“但”が最も多く使用されている。(注4) 地の文と会話の文の区別も顕著でなく、発話者の性別にも反映されていない。(注5)

3.2

書き言葉と話し言葉の使い分けから“但是”“可是”“不过”の異同を観察できるほか、文体差による“但是”“可是”“不过”の異同も考えられる。『理由』は小説であるが、全編を通してインタビューという形が使われ、さまざまな登場人物が「語っている」。その登場人物の性別、経歴、生活環境などによって異なる話し方をすることが予想される。一方で聞く相手が異なる場合はどうなるのか。『理由』と並行して『いやいやえん』における“但是”“可是”“不过”などの用法も調べてみた。同じく日本語からの翻訳であるが、こちらでは“可是”

が多く使用されている。(注6)

4.

以上、複文における「が」と“但是”“可是”“不过”の比較等を行った。中国語学習も中級以上になると複文を扱うようになる。日本語母語話者の中国語学習者が、複文における接続助詞「が」の中国語訳を考える際にはまず“但是”“可是”“不过”を候補として頭に浮かべることが多いのであるが、日本語の「が」の担う範囲はかなり広く、狭義の逆接、対比以外の用法もかなり持っている。その際多くは“但是”“可是”“不过”を使うことができなくなり、そのような事情を、本稿では具体的な例をもって明らかにすることができたと考える。今後は、“但是”“可是”“不过”それぞれの使い分けの詳細や、日本語では接続表現があらわれるのに中国語では接続表現が現れない場合とはどのような特徴があるのかについて、明らかにしていきたいと考える。

〔注〕

(注1)『实用现代汉语语法』(刘月华等著)の日訳本。元の記述は次の通りである。

☆根据分句与分句之间的语法关系，复句可以分成联合复句与偏正复句两大类；(865页)

☆复句中的分句如果在表达意义上有主要的，有次要的，而不是平等的，这样的复句就是偏正复句。偏正复句中表达主要意思的分句是正句，另一个分句是偏句。(870页)

☆偏句叙述一个事实，可是正句没有顺着这个事实得出结论，而说出一个相反或部分相反的事实，这样的复句叫转折复句。转折复句又分为两种：

(一) 重转：两个分句意思完全相反的是重转……

(二) 轻转：常用的关联词语有“不过”“却”“只是”“就是”（用在正句）等。(872页)

☆偏句承认某种事实，做出让步，正句从相反方向说出正面的意思，这种句子叫做让步复句。常用的关联词语，偏句是“尽管”“纵然”“固然”“即

使”“哪怕”“就是”等,正句是“也”“都”等。让步复句又可分两种:

(一) 事实上的让步:偏句所说的事实是已实现的。……偏句也可以不用关联词。

(二) 假设的让步:偏句提出的事实是一种假设。(875 页)

- (注2) 例文の後の「理」などはその例文は参考資料からの例文であることを示したものである。また例文番号の後の「一中」はその例文の中国語訳版によるものであることを示す。例文の後になにもない場合は、その例文は作者の作例であり、中国語訳も作者が中訳したものであることを示す。
- (注3) “但是”“可是”“不过”などが使用されている転折複文と譲歩複文は日本語の逆接と譲歩の構文と概ね対応していると考えられるが、本稿では「が」と“但是”“可是”“不过”などの接続用法を比べることを課題とし、各複文の比較は今後の課題とする。
- (注4) 本稿では“但”“可”はそれぞれ暫定的に“但是”“可是”と同じ表現とみなすこととする。
- (注5) 日本語には接続助詞の「が」のほか、終助詞の「が」、接続詞の「しかし」も多く使用されていて、そのなかでも前置きの「が」は中国語には訳されないことも多くあることを考え、日本語と中国語に分けた。その結果“但”27例(会話14例、地の文13例)。“可是”8例(会話5例、地の文3例)。“但是”4例(会話1例、地の文3例)であった。
- (注6) 日本語には接続助詞「が」「けども」のほか、接続詞の「でも」「だって」「しかし」「ところで」などが使用されている。ここでも中国語の“但是”“可是”“不过”について調べた。その結果“不过”4例(会話1例、地の文3例)。“可”5例(会話3例、地の文2例)。“可是”32例(会話12例、地の文20例)“但”1例(地の文)“但是”5例(会話1例、地の文4例)であった。

参考資料

- 『いやいやえん』著者 中川李枝子 福音館書店 1962年12月
 『不不園』(中川李枝子著 朱自强译 接力出版社2004)
 『理由』著者 宮部みゆき 新潮社 平成十六年七月
 『理由』(宮部美幸 著 乔君译 中国友谊出版公司2005年)

参考文献

- 『现代汉语八百词』(吕叔湘主编 商务印书馆 1980年)
- 『实用现代汉语语法』(增订本)(刘月华 潘文娉 故韡 著 商务印书馆 2001年)
- 『現代中国語文法総覧』刘月华 潘文娉 故韡 著 相原茂監訳 片山博美
守屋宏則 平井和之 訳 くろしお出版 1991年
- 『应用汉语辞典』(商务印书馆辞书研究中心编 商务印书馆 2000年)
- 『講談社中日辞典第二版』編者 相原茂 講談社 2002年
- 『明鏡国語辞典』編著 北原保雄 大修館書店 2002年
- 『汉语语法百项讲练(中高级)』(中文编辑王亚莉 英文编辑李国柱 北京语言大学出版
社 2011年)
- 『汉语常用关联词语学习手册』(编著胡鸿 翻译胡凝 北京大学出版社 2007年)